

○ 特別支援教育

教育相談及び特別支援教育の指導充実の取組

後藤 幸洋 教諭 北海道留辺蘂高等学校

高等学校の福祉科教諭及び特別支援教育コーディネーターとして、主体的に学習に取り組む態度の育成を重点とした授業改善に尽力するとともに、インクルーシブ教育の理念の下、個に応じた特別支援教育を推進する中で、ソーシャルスキルトレーニングを実施するなど、創意工夫ある教育活動を展開している。



特に、学校全体で多様な生徒の理解を

深めるため、「ほっと」などのコミュニケーションスキルを測定するツールを活用し、その分析結果について、校内研修等の機会に教職員全体で共有を図ったほか、その活用方法について、「教育相談研究協議会」において研究発表するなど、オホーツク管内の特別支援教育の振興と充実に大きな成果を上げている。

また、「初任段階教員研修」の講師として、教育相談や特別支援教育におけるカウンセリング手法の指導助言を行い、オホーツク管内における教育相談及び特別支援教育の指導の充実に中核的な役割を果たすなど、その実践は高く評価されている。

【主な業績】

平成27年度 オホーツク管内高等学校教育相談研究協議会・研究発表

平成30年度 ほんの森出版「学校教育相談」論文掲載「発達障害を抱える生徒を叱ることの挑戦」

平成30年度 北海道教育委員会「初任段階教員研修（1年次）」講師

平成30年度 北海道立特別支援教育センター「高等学校特別支援教育コース」講師